

第1章 計画策定の基本的方向

1 計画の趣旨

現在、宇和島市では、全国や県の平均をはるかに超えるスピードで少子高齢化が進んでいます。これに伴い認知症や寝たきり、要介護状態になる人が増え、深刻な問題となっています。

市民一人ひとりが「自分の健康は自分でつくる」という意識を持ち、主体的に取り組むことが基本であり、個人の健康づくりの活動をより効果的に展開するために、家庭、地域、学校、職場、行政等がその取り組みを支えることが必要です。

市民をはじめ、関係機関・団体がそれぞれ持っている力を合わせ、健康づくりを総合的かつ効果的に推進し、「壮年期死亡の減少」「健康寿命の延伸」「生活の質の向上」を目指し、『宇和島市健康づくり推進計画(第2次)』を策定します。

[総合目的]

○壮年期死亡の減少

子どもの頃から生活習慣病の予防に努め、働き盛りの人の死亡を減少させます。

○健康寿命の延伸

心身ともに自立して健康に生きることのできる期間である「健康寿命」を伸ばします。

○生活の質の向上

市民一人ひとりが人生の各ライフステージにおいて自分の価値観や心身の状態に応じた豊かな人生の実現に向けて生活の質を高めます。

2 計画の基本的方針

●市民が主役

健康づくりは、市民自身が「自らの健康を実現する主役」となることが基本です。生活習慣を改善し、健康づくりに市民一人ひとりが主体的に取り組むことを目指します。

●乳幼児期からの取り組み

生活習慣病を予防するためには、子どもの頃からの健康的な生活習慣が大切です。乳幼児期から望ましい生活習慣を身に付けることに積極的に取り組みます。

●「市民(個人・家庭)」「地域」「行政」の協働

健康づくりは、個人の努力だけでは難しく、家庭、地域、学校、職場等社会全体の支援がなければ、継続は困難です。「市民(個人・家庭)」、「地域」、「行政」の役割を明確にし、協働して健康づくりに取り組みます。

●一次予防の重視と重症化予防の推進(非感染性疾患の予防)

病気の早期発見や治療にとどまることなく、生活習慣を改善して健康を増進し、疾病の発病を予防する「一次予防」に一層の重点を置きます。また、2次計画においては合併症の発症や症状の進展などの重症化予防についても推進していきます。

●評価に基づく計画の推進

目的・目標を定めそれぞれの取り組みができるよう、具体的な指標をあげ、計画の達成度を評価しながら計画を推進していきます。

3 計画の位置づけ

(1) 関連する計画との関係

この計画は、健康増進法第8条第2項に規定される「市町村健康増進計画」として作成しました。

また、地方自治法第2条第4項に基づく「宇和島市総合計画」を上位計画として整合性を図り、政策目標「だれもが健康で安心して暮らせるうわじま」を達成するため、策定します。

その他関連の計画として、「宇和島市母子保健計画」「宇和島市食育プラン」「特定健康診査等実施計画」があり、これらの計画は、「ライフステージ」や「食」等、対象又は目的に特化して詳細に策定されています。

健康づくり推進計画(第2次)は、関連する計画すべてを包括したものとなっており、多様な健康づくり施策を総合的、計画的に推進し、平成19年度に策定した第1次計画(20～24年)の実施、評価を踏まえて策定するものです。

(2) 計画の期間及び評価

この計画の期間は、平成25年度から平成35年度までの11年間とし、平成29年度に中間評価、平成35年度に最終評価を行います。

図: ライフステージからみた各計画(第2次)との関連

妊娠・乳幼児期 ～5歳	学童・思春期 6歳～	青年期 19歳～	壮年期 40歳～	高齢期 65歳～ 75歳～		期間
宇和島市健康づくり推進計画						H25～35
宇和島市母子保健計画						H25～29
宇和島市食育プラン						H25～29
			特定健康診査等実施計画 (国保加入者に特化)			H25～29

4 計画策定の体制

(1) 健康づくり推進協議会

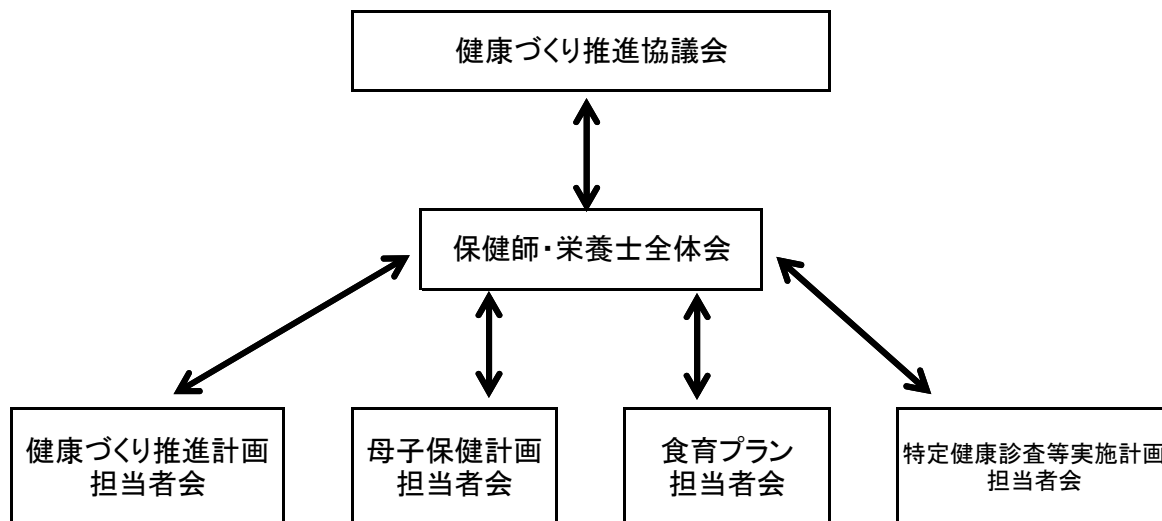
学識経験者、地域住民の代表、行政関係代表者で構成し、計画策定に関する事項について協議のうえ、決定しました。

(2) 1次計画評価と2次計画策定の概要

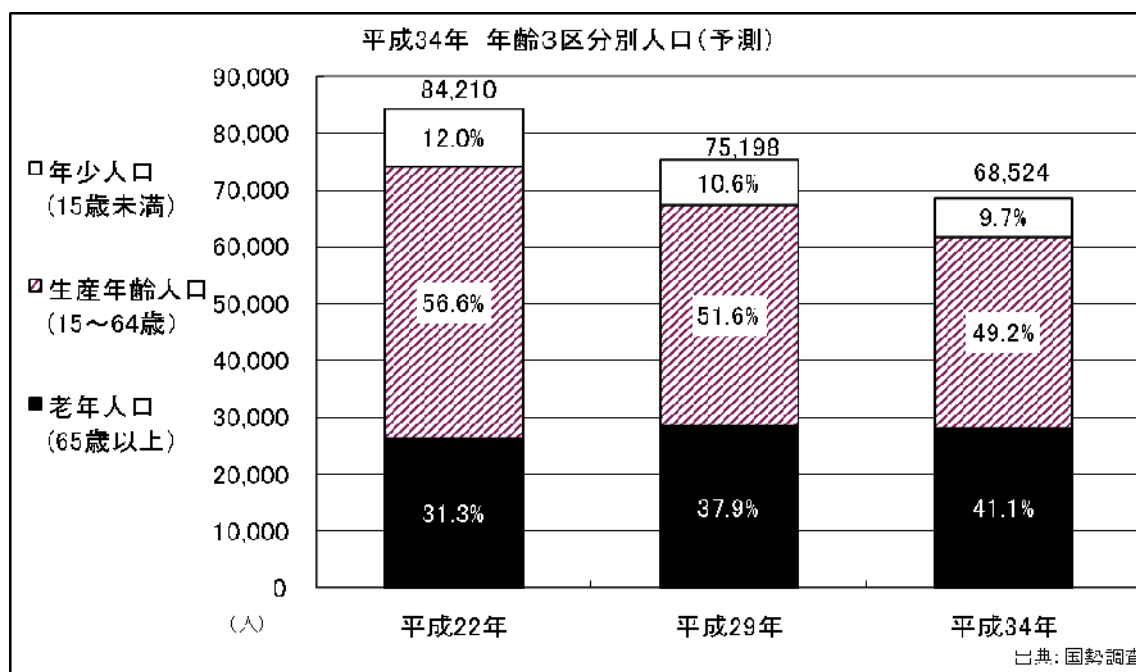
1次計画については、計画策定から各年度毎に評価を実施し、事業の見直し・充実を図りました。また、小・中・高校生及び市民へのアンケート調査を実施し、5年間の取り組みや、各分野の目標達成状況等を評価しました。

2次計画においては、1次計画の評価と、アンケート調査の結果を踏まえて策定しました。関連する3つの計画においても同様に、1次計画の評価及び2次計画の策定を実施しました。宇和島市の健康課題の見直し、新たな目標の設定等、それぞれの計画の整合性を図りながら協議を重ね、策定しました。

図：2次計画策定の体制



5 10年後の宇和島市人口予測



平成22年の国勢調査の結果、総人口は84,210人で、平成17年の国勢調査と比較すると、人口増減率は-5.9%となっています。これらの結果をもとに、平成34年の総人口は、68,534人まで減少すると予測されます。年少人口、生産年齢人口が減少している一方で、老年人口は増加しています。